



柴垣映里奈 / SHIBAGAKI
芝浦工業大学建築学部建築学科 原田真宏研究室
東京工業大学工学系研究科建築学専攻 川添善行研究室

主な活動

2018 4月~	サークル	: 建築学生サークル
10月	学祭	: ミスコン、建築女子のPR活動
2019 8月~	手紙い	: 福島県会津若松にてツリーハウス制作
9月	旗	: 九州の建築を見てまわる
2020 2月~3月	旗	: アフリカ、ヨーロッパの建築を見てまわる
4月	WS	: コロナと建築のリサーチ企画
8月	WS	: JaNAS_online2020
10月~	PJ	: Fabr 実務プロジェクト: 絵本オフィス化計画
2021 4月~現在	PJ	: 間接的コミュニケーションを生み出す装置
2022 3月~現在	アルバイト	: CoralsInc (ニューヨークの設計事務所)
5月	PJ	: gDZ
6月	PJ	: 生研公
8月~	PJ	: アントレプレナーシップ 2022
8月~	PJ	: 本郷キャンパス増築計画

デザイン・設計

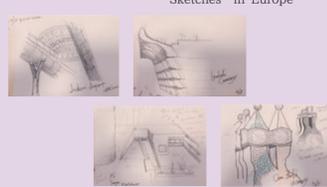
1年	空間デザイン演習 I「西洋美術館図面デザイン1」	優秀賞
	空間デザイン演習 I「西洋美術館図面デザイン2」	優秀賞
	空間デザイン演習 I「西洋美術館図面デザイン3」	優秀賞
	空間デザイン演習 I「書斎」	優秀賞
2年	空間デザイン演習 II「閑居の住宅」	優秀賞
	空間デザイン演習 II「F3つの住宅」	優秀賞
	空間デザイン演習 II「小学校」	優秀賞
	空間デザイン演習 III「集合住宅」	優秀賞
3年	空間デザイン演習 IV「図書館」	最優秀賞
	空間デザイン演習 IV「美術館」	優秀賞
	BIM 演習2「椅子」	優秀賞
	プロジェクトゼミ 同野道子研究室「公民館」	ゼミ内最優秀

4年	Shumai「情報」	最優秀賞
	卒業設計	赤れんが100選
	神田外語 Speech contest「無人駅の活用」	審査員賞
	Barrierless City Award&Competition	
	デザインチャンピオンシップ 2020	
	第8回 POULS 学生・建築デザインコンペ	

一期一会なバックパッカー旅のエピソード

アフリカ大陸からヨーロッパをめぐる旅

航空券、宿泊費、食費、建築科費用、その他全部で1ヶ月20万の学生らしい貧乏旅



バックバック気ままに一人旅 in タイ

CONTENTS

音を聞き、風を感じ、時の流れを見つめ、環境と共存して

01

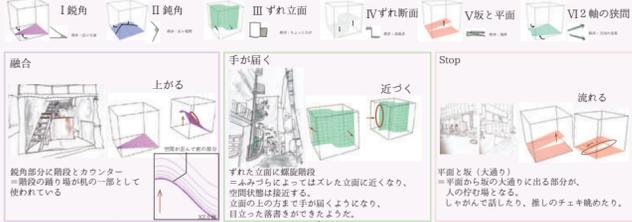
(卒業設計 原田真宏研究室)

道玄坂ジオメトリー ~垂む都市。その読み取りと使いこなし~

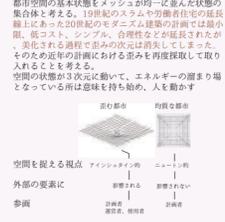
a. 道玄坂の地形に基づく都市軸の歪み



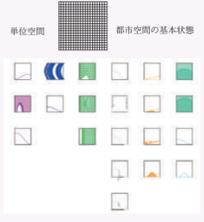
b. 階段などの構造物によるもう一つの歪み



c. 21世紀、歪む都市



d. 抽出された歪みの立体面

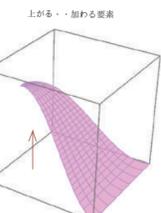
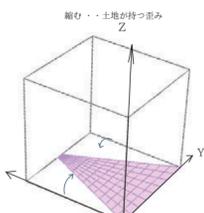


e. 使いこなしシーン例



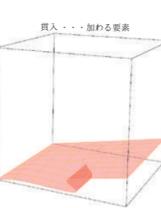
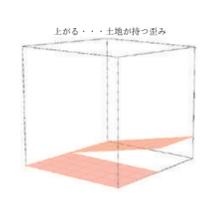
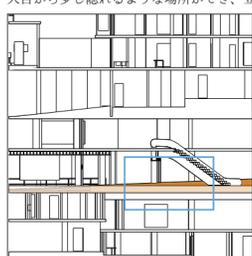
NO.1 ものこが融合する鋭角地

店内の雰囲気が見えてきました。パーのオーナーは訪れる人に店の雰囲気を伝えるうってつけの場所を鋭角部分にある階段下に見つけました。



NO.6 隠したい隠れたい

平面が坂の下に食いこむ。人目から少し隠れるような場所ができ、立ち寄ったカップルは、2人でゆっくりできるいい感じの場所を見つけたようです。



03 シェルターエリア

トランプを敷き、壁に採光窓を求めた結果、周辺のラウンジに食い込まれる女性を支援するシェルターエリア



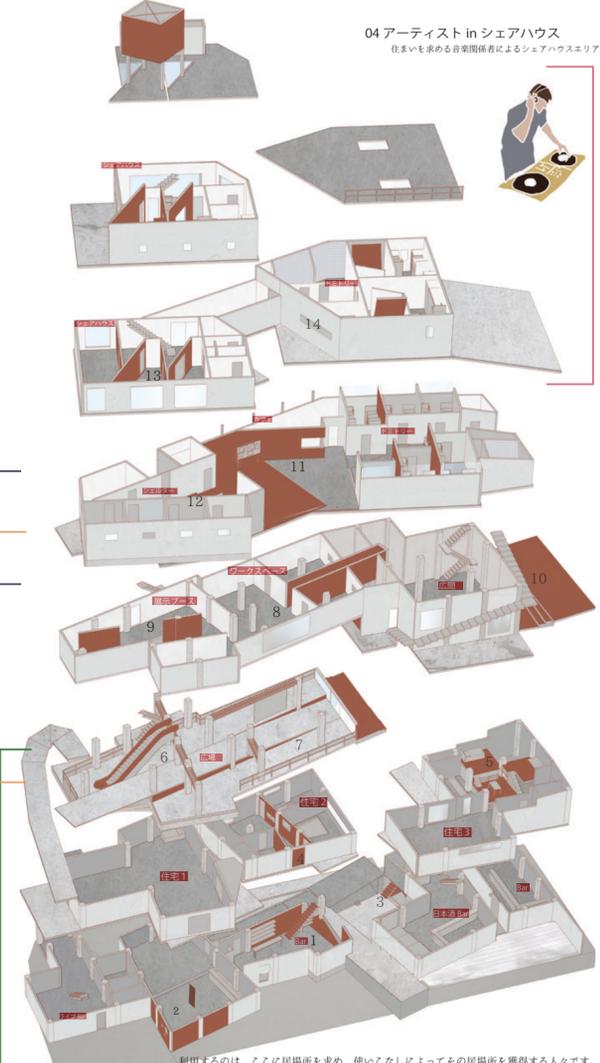
02 ドミトリー

中長期滞在するアーティストが中心のドミトリーエリア



01 職住エリア

百貨店の活気を支える職住エリア



利用するのは、ここに居場所を求め、使いこなしによってその居場所を獲得する人々です。読み取りと使いこなしによって渋谷の地に帰属意識をもたらします。

02

結界の中の公民館 (B3. プロジェクト研究室設計, 東松戸紙敷)

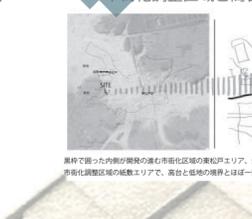


私は、緩急の地形に高低差があり、それに伴って町の雰囲気も変化する事に着目し、緩急と高低を緩やかにつながら建物をつくることで、新しい地形と昔ながらの住居の交流が、ふたはじまるような場を提案する

フラフラする高台と低地の境目



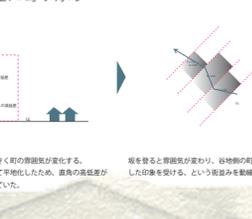
市街化調整区域と高台



地形の高低差に寄り添う



鳥居の水平線による境界線の明示



しかし、緩急と高低差が断絶した地形の交差を解消するように緩やかにし、そこで、高台と低地の境目を軸として適した新しい住居をつくる場を提案する。

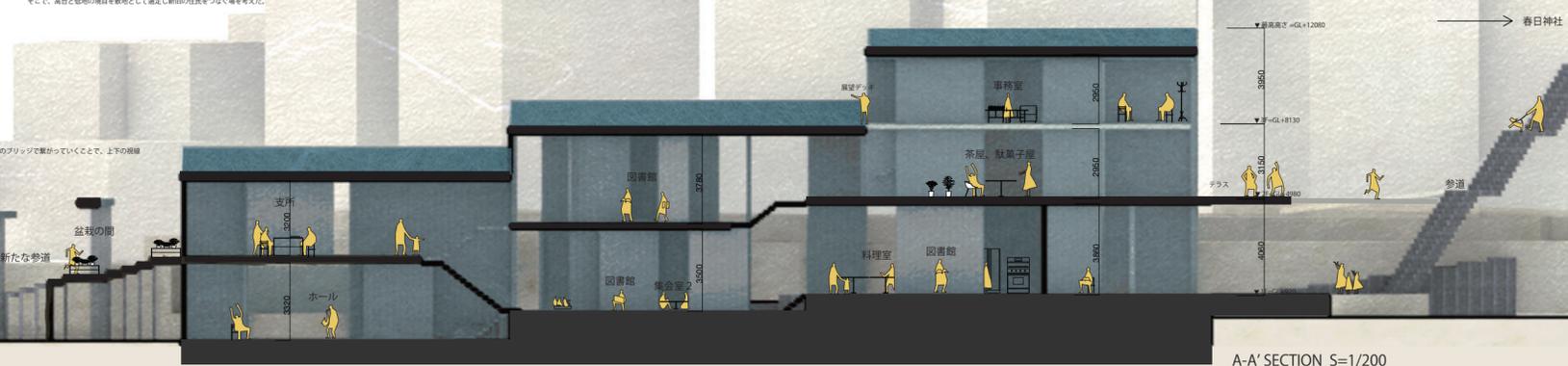
この地形は緩急を伴っていくことで町の様相も変化する。しかし、この地形は竹林が伐採されて平坦化したため、直線的な高低差が存在し、谷地を大きく分断している。

坂を登ると雰囲気が変わり、谷地制の町が見えて浮遊した印象を受ける、という視点を軸として取り入れる。

安定をもたらす水平線は緩やかに向き、その水平線がはみ出すことで水平方向への延長を意味し、緩急を感ずる。

今まで境界線を踏んであった水平線を連続させ、新旧住居を繋ぎ一気通貫のあるまちづくりに貢献する。

空をもちろた水平線は緩やかに向き、その水平線がはみ出すことで水平方向への延長を意味し、緩急を感ずる。



A-A' SECTION S=1/200

03

箱をよめた図書館 (B3 図書館設計, 清澄白河)



箱をよめた図書館 (B3 図書館設計, 清澄白河)

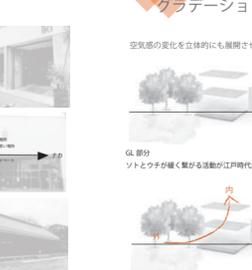
清澄白河の自然と下町



グラデーションのある過ごし方



開口の広さに伴う機能の移ろい



外を有効に、活動がナカに続く生活 ~ 空気の変化 ~

空気の変化を立体的にも展開させる

壁とガラスのあり方を変える

内側へオセットさせる

壁とガラスのあり方を変える

内側へオセットさせる

内側へオセットさせる